



■重要安全情報

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みください。

 警告	誤った取り扱いをすると感電等による死亡または重傷を負う危険性あるいは火災等の発生が想定される操作・説明では、この警告マークを付記します。
---	--

《補足》 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

 注意	誤った取り扱いをすると火災・感電・けが等、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される操作・説明では、この注意マークを付記します。
---	---

《補足》 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

《電源に関する注意事項》

- 電源はAC100V（50／60Hz）です。安定した電源・電圧のもとでご使用ください。
- 本機の電源は他の機器電源と独立させてください。

◆絵表示の例◆



高温注意

△記号は警告や注意を示します。具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為を示します。具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は強制する行為を示します。具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

◆お願い◆











製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

目次

1. 安全にお使いいただくために	1
2. ご使用になる前に	3
3. 作動させるには	7
4. 印字位置の調整	8
5. 活字の合わせ方	9
6. 繰り返し印字の調整	11
7. 使用上の注意	12
8. 印字が薄くなったら	12
9. NU-3000Bシリーズご使用の場合	15
10. 仕様	17
11. 保証とアフターサービス	18

1. 安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みいただき、理解してください。

 警 告	
 定格電圧外禁止	・ 本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。 火災、感電の原因となります。
 タコ足配線禁止	・ 電源は、直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。 火災の原因となります。
 ぬれ手禁止	・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となります。
 禁止	・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。 重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。
 分解禁止	・ 本機を、改造しない。 火災、感電の原因となります。
 分解禁止	・ 本取扱説明書で取りはずす手順を説明した部位以外は分解したり、触れたりしない。 内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
 プラグを抜く	・ 万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターへ連絡する。 そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
 プラグを抜く	・ 万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターへ連絡する。 そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
 定期清掃	・ 電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取る。 ほこりがたまり、火災の原因となります。

⚠ 注 意



設置場所

- ・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・本取扱説明書の中には、弊社または弊社指定代理店が行う作業の説明がありますが、その作業は絶対にお客様が行わない。
感電、けがの原因となることがあります。



禁止

- ・ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- ・本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かない。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ホコリの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。
火災、感電の原因となることがあります。



プラグを持って抜く

- ・電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・インクパッドを交換するときは、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- ・本機を移動させる場合は、電源プラグを抜く。
電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

2. ご使用になる前に

電源について

⚠ 警告



定格電圧外禁止

- ・ 本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災、感電の原因となります。



タコ足配線禁止

- ・ 電源は、直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。
火災の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



禁止

- ・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。



分解禁止

- ・ 本機を、改造しない。
火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・ 本取扱説明書で取りはずす手順を説明した部位以外は分解したり、触れたりしない。
内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターへ連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターへ連絡する。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

⚠ 注意



プラグを持って抜く

- ・ 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

◆付属品をご確認ください。



◆電源プラグをコンセントに差し込む前に行なってください。

(1) 輸送中の機械の破損を防止するため、活字部に緩衝材(2箇所)が入っておりますので、ご使用になる前に取り除いてください。(図1参照)

再輸送時には機械の破損を防止するため、必ず緩衝材を取り付けてください。

(将来の再輸送に備えて、緩衝材の保管をお願いいたします。)

なお、プロテクターおよびインクパッドは、箱のサイドに別梱包されています。(上図付属品を参照)

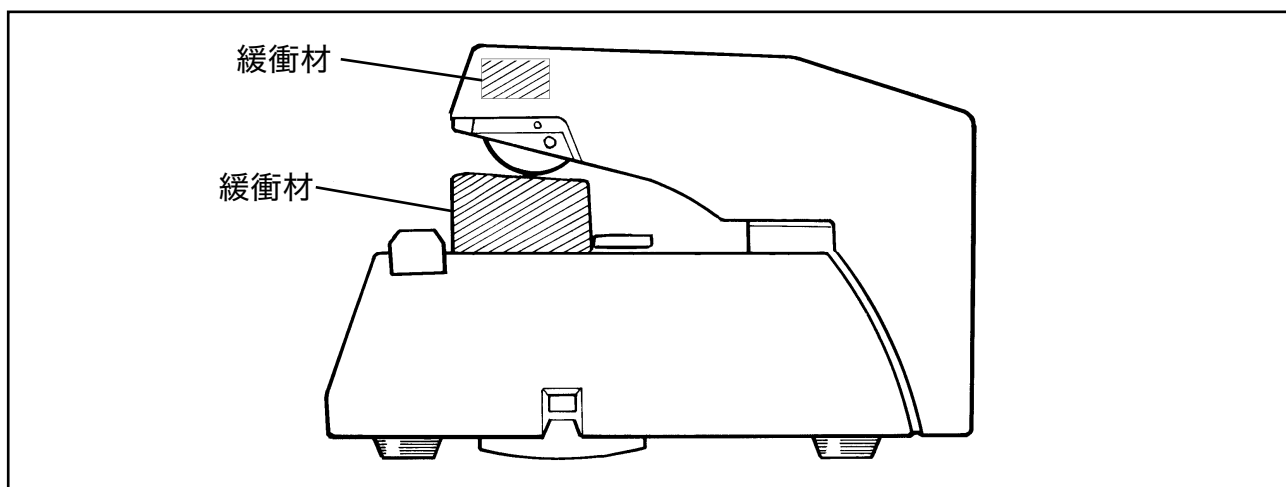


図1

- (2) インクパッドを、上ケースに沿ってスプリングバーの矢印の方向に押しながら、上ケースにある穴に入れてください。(図2参照) (14ページ図10参照)
- ※ インクパッドがスプリングバーに掛り、活字部に正常に密着しているか、またスムーズに動作するかを確認してください。

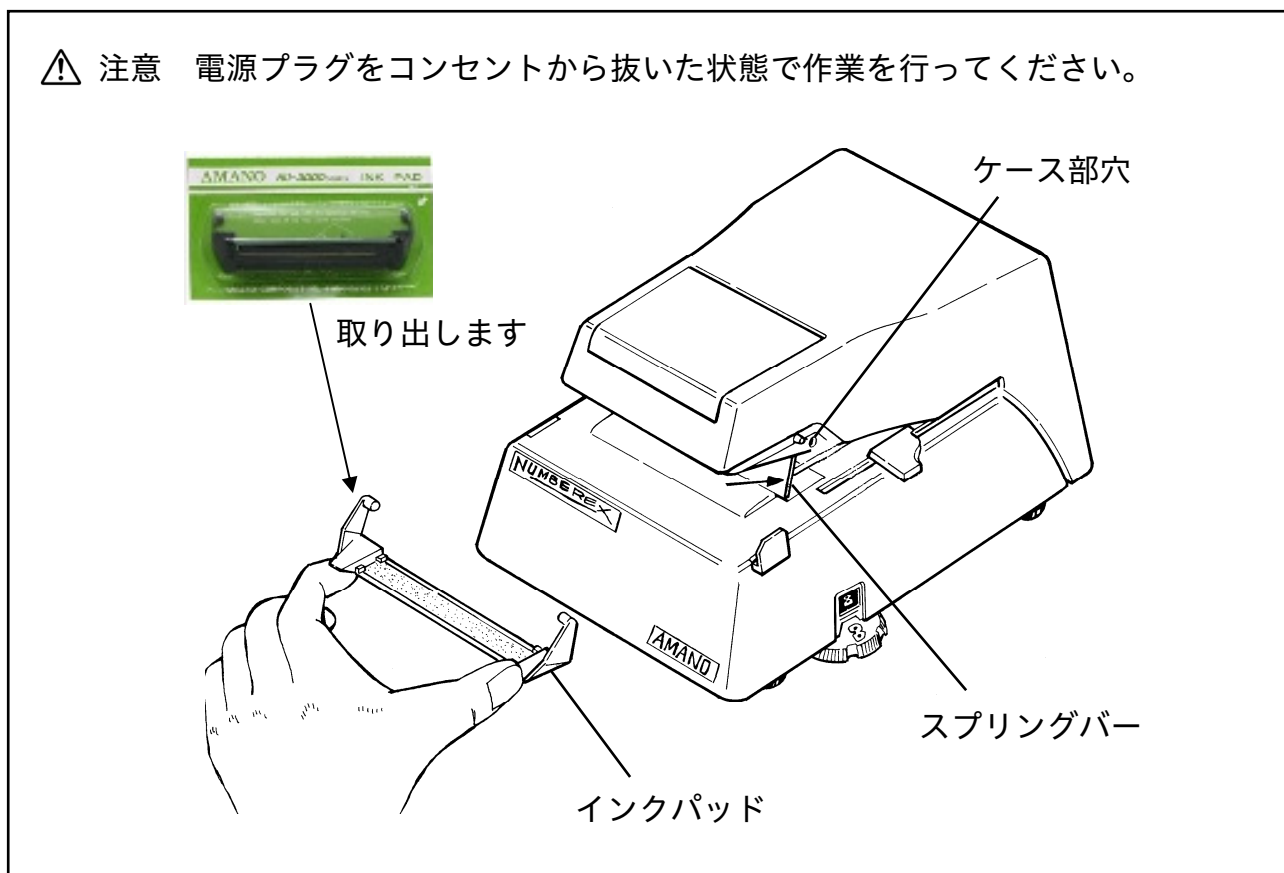


図2

(3) プロテクターを、上ケースガイドに沿って正面より矢印の方向にまっすぐ奥まで差し込んでください。(図3参照)

※ 上ケースの突起ピンにピッタリと入っているか確認してください。

⚠ 注意 電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

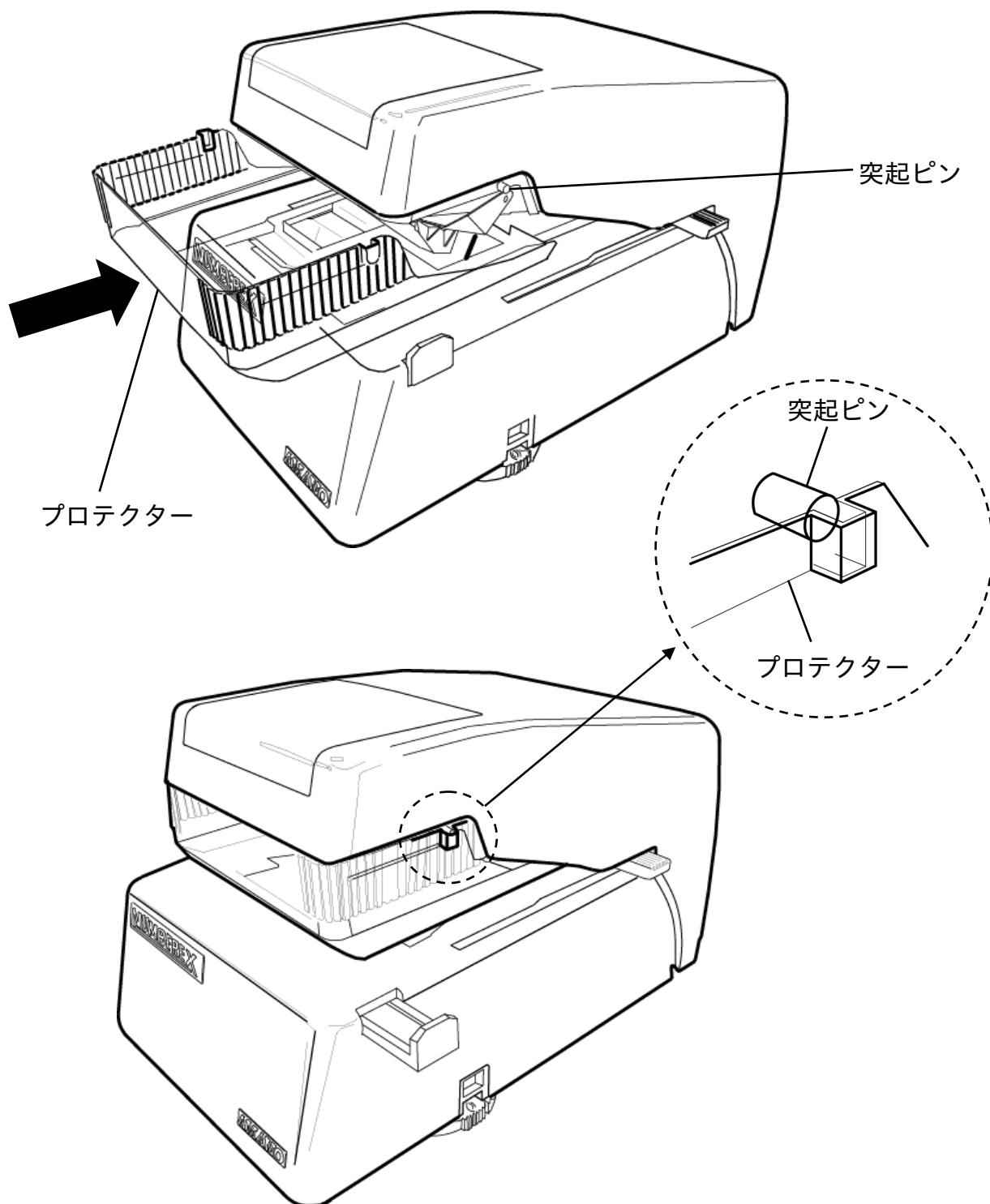







図3

3. 作動させるには

⚠ 警 告	
 定格電圧外禁止	・ 本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。 火災、感電の原因となります。
 タコ足配線禁止	・ 電源は、直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。 火災の原因となります。
 ぬれ手禁止	・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となります。
 禁止	・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。 重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意	
 プラグを持って抜く	・ 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- (1) 電源プラグを交流 100 V，50 Hz または 60 Hz のコンセントに差し込みます。
- (2) 用紙をプロテクターの下に差し込み、用紙の上端が自動接点のレバーに触れると自動的に印字されます。(図 4 参照)
カーボン紙なら 6 枚まで印字ができます。用紙が厚い場合や、感圧紙（ノンカーボン紙）の場合には事前に複写性能を確認してください。

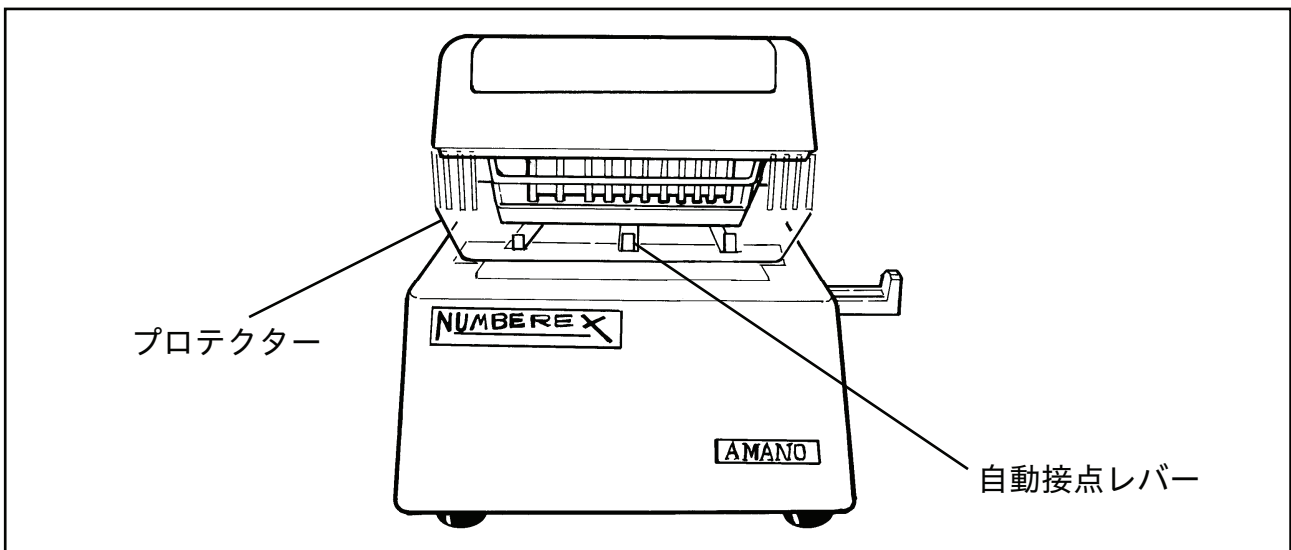


図 4

4. 印字位置の調整 (図 5 参照)

- (1) 印字位置 (奥行き) の調整は、外部の印字位置つまみを前後に移動することにより、上端より 4.5~83mm の範囲で印字できます。
- (2) 印字位置 (左右) の調整は、用紙ガイドを引き出して、任意の位置に止めてください。
 - ・ 用紙ガイドは左側にも取り付けられます。取り付ける場合は下ケースカバーをはずして、用紙ガイドを入れ換えてください。

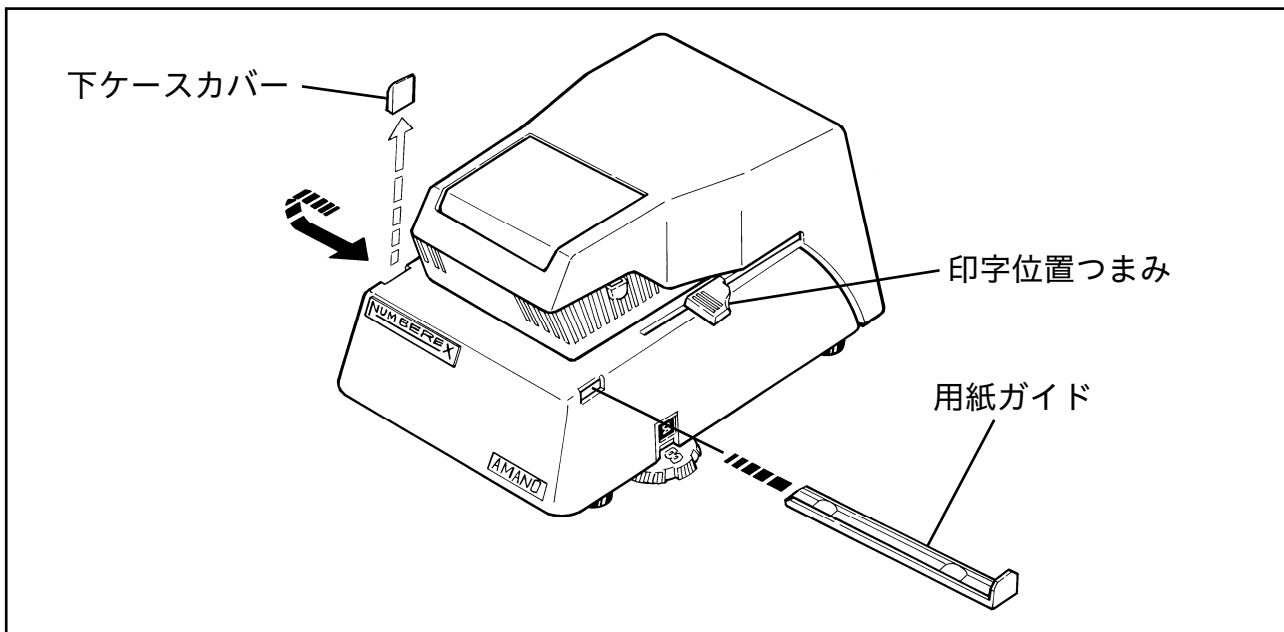
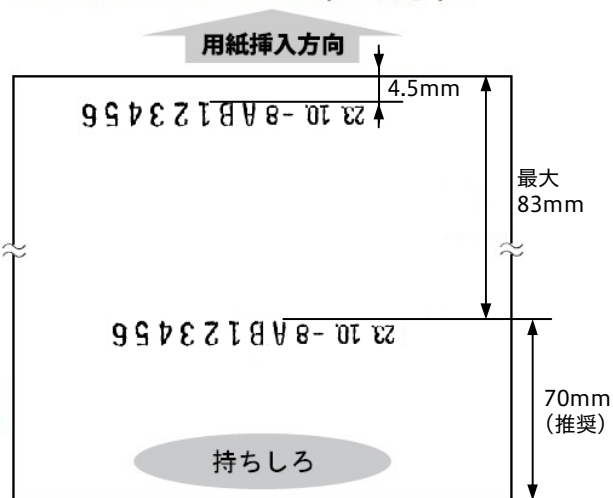


図 5

<モデル NU-3140(正活字)>

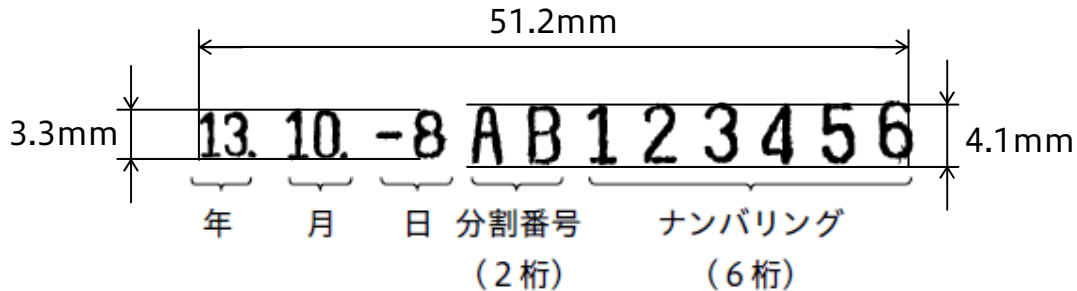


<モデル NU-3340(逆活字)>



5. 活字の合わせ方

(1) NU3000シリーズの活字は、次のように並んでいます。(標準)



・活字のうち、ナンバリングは自動送り、その他の活字は任意の手送りです。

(2) 活字を合わせるには、ケース上ブタの手前を軽く押しながら上に開け（図6参照）、ボールペン等を利用し、手前から奥に活字を回しながら活字合わせ窓に合わせてください。（次ページ図7参照）

年・月・日・分類記号を印字したくない場合は、活字を回してブランクの箇所にセットしてください。

閉める時にも開ける時と同様に、ケース上ブタ手前部分を軽く押しながら閉めてください。

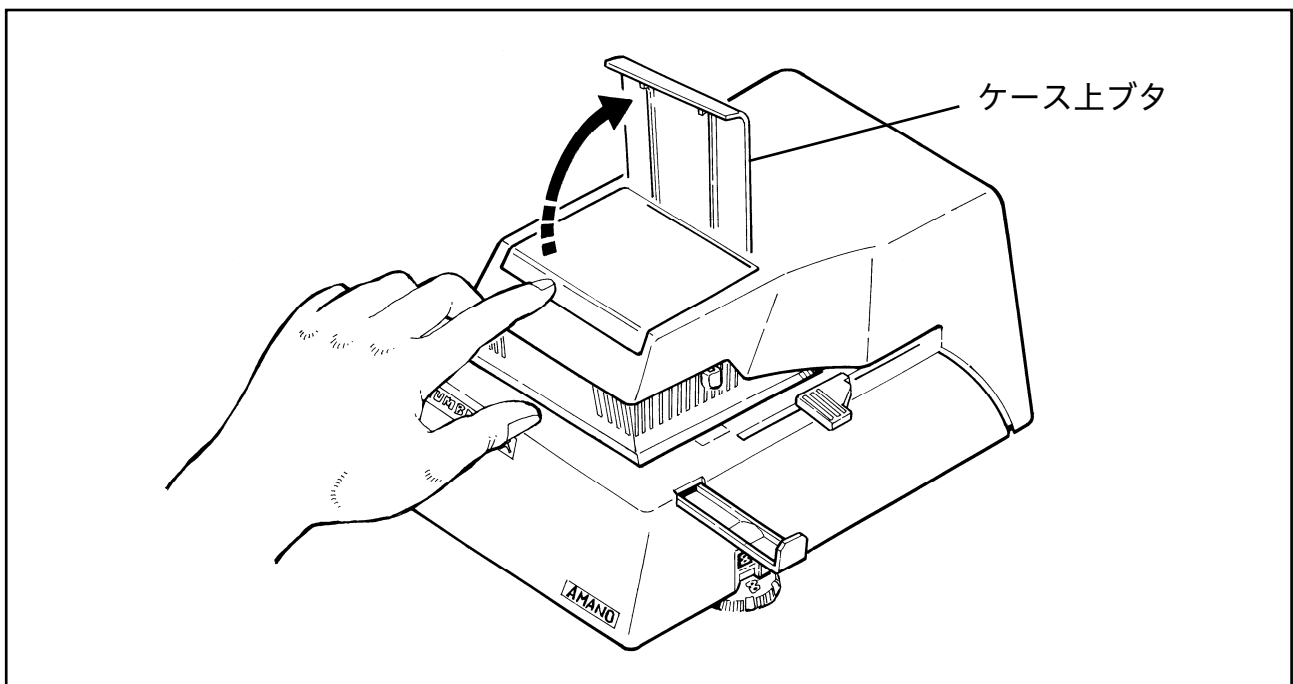
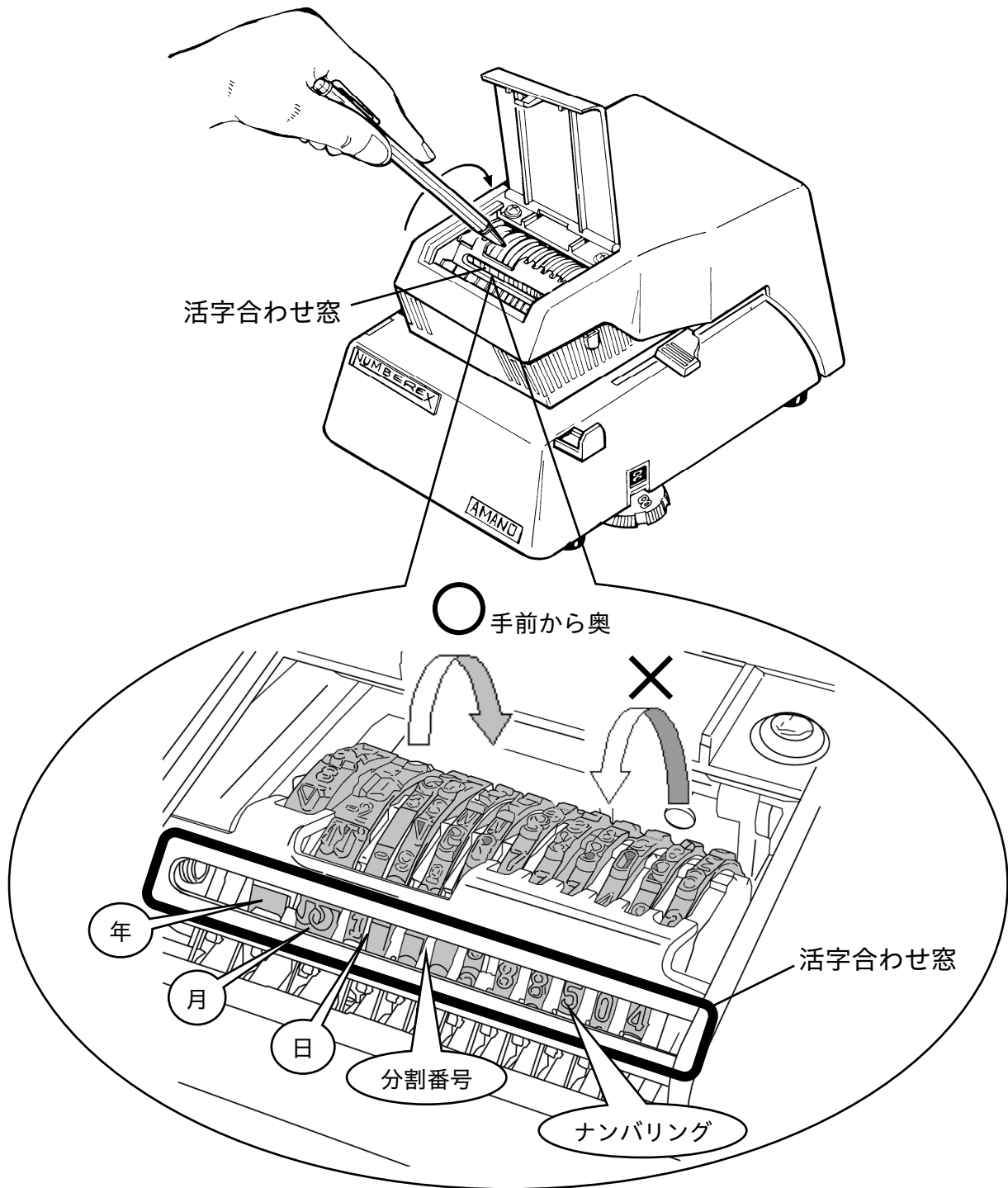


図6

- ⚠ 注意
- ・電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。
 - ・活字の逆転はできません。手前から奥に動かします。



13. 10. -8 AB 123456

年 月 日 分割番号 ナンバリング
 (2桁) (6桁)

図7

6. 繰り返し印字の調整

- (1) ナンバーレックスは、同じ数字を繰り返して印字することができます。

ダイヤル No.

0 (繰り返し)	1.1.1.1.1.1.1.1.....
1 (連続)	1.2.3.4.5.6.7.....
2 (2回連続)	1.1 2.2.3.3.4.....
3 (3回連続)	1.1.1 2.2.2.3.....
⋮	⋮
⋮	⋮
⋮	⋮
9 (9回連続)	1.1.1.1.1.1.1.1.1 2.2.2.....
10 (10回連続)	1.1.1.1.1.1.1.1.1.1 2.2.....

の 11 様式が
可能です。

- (2) 例えば、3 回連続のナンバーを印字したい時は、本体右側面下にある切換ダイヤルを 3 に合わせてください。ダイヤル上部の窓の数字は、印字回数を示しています。

(図 8 参照)

ダイヤルの数字を 3 に設定し、窓の数字が 2 と表示されている時は、あと 2 回印字するとナンバーが変わることを意味しています。

- (3) 連続印字回数を変更する時には、ダイヤルと窓の数字を合わせてから印字してください。

例えば、5 回連続印字で、5 回終了しないうちに 7 回連続印字に変更したい場合には、窓の数字が 5 に戻るまで印字してください。

それからダイヤルを 7 に合わせて、印字を始めてください。

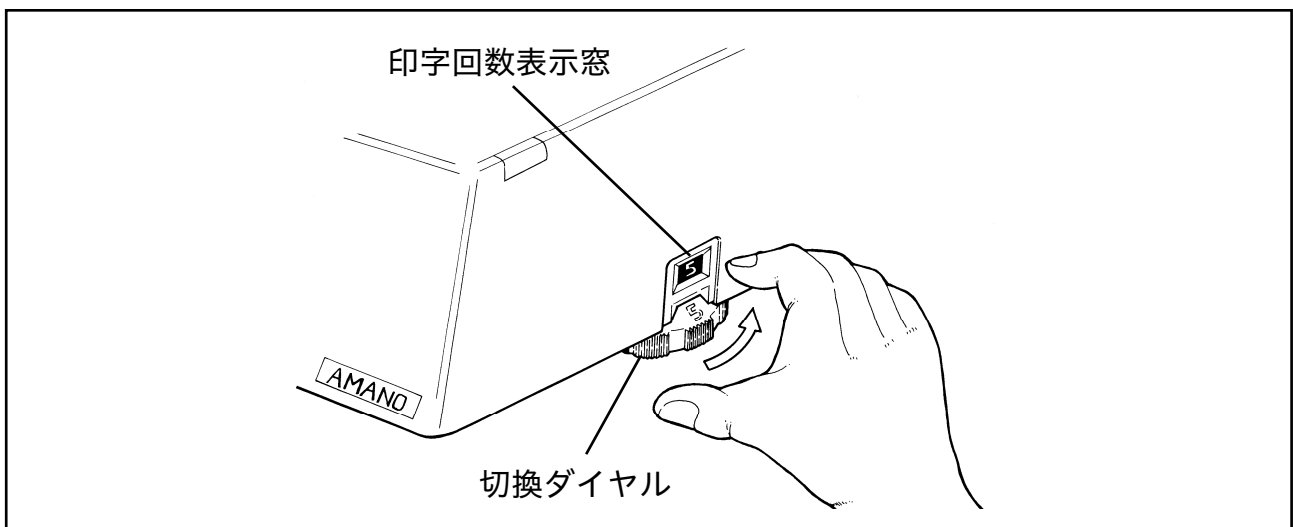


図 8



7. 使用上の注意



- ・ 印字動作が完了するまで印字用紙は引き抜かないでください。
途中で引き抜くと、用紙が破損したり、機械が故障する可能性がございます。

8. 印字が薄くなったら…

- ・ 印字が薄くなりましたら、下記の手順で新しいインクパッドと交換し、数回ためし打ちしてください。

◆電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

⚠ 警告	
 ぬれ手禁止	・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となります。
 禁止	・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。 重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意	
 プラグを持って抜く	・ 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 プラグを抜く	・ インクパッドを交換するときは、電源プラグをコンセントから抜く。 そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。

- (1) プロテクターの左右突起部を広げながら、手前に引いて取りはずしてください。(図9参照)
- (2) 次に古いインクパッドをはずしてください。(次ページ図10参照)
- (3) 新しいインクパッドを取り付けてください。
※スプリングバーを後ろに押し付けて取り付けます。(次ページ図10参照)

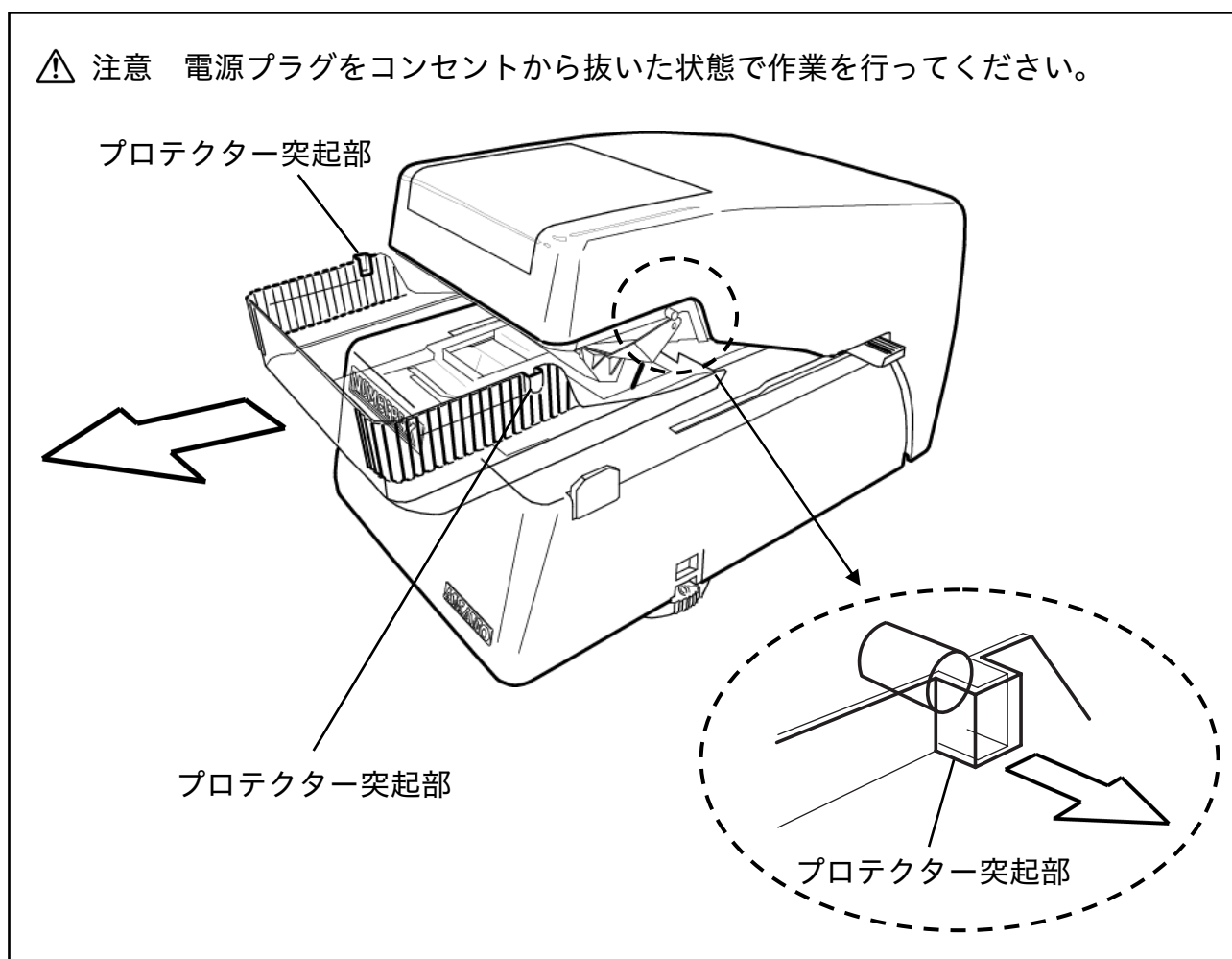


図9

インクパッドにインクを補充する場合は、専用インクをお求めください。

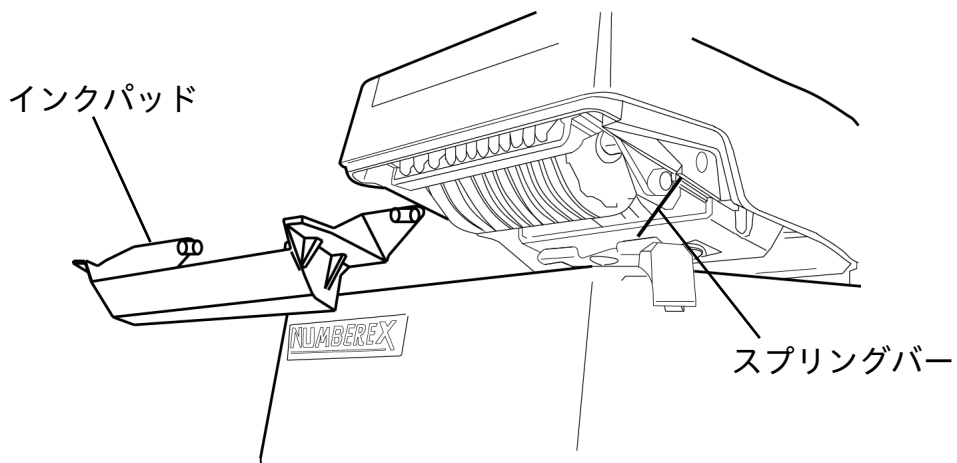
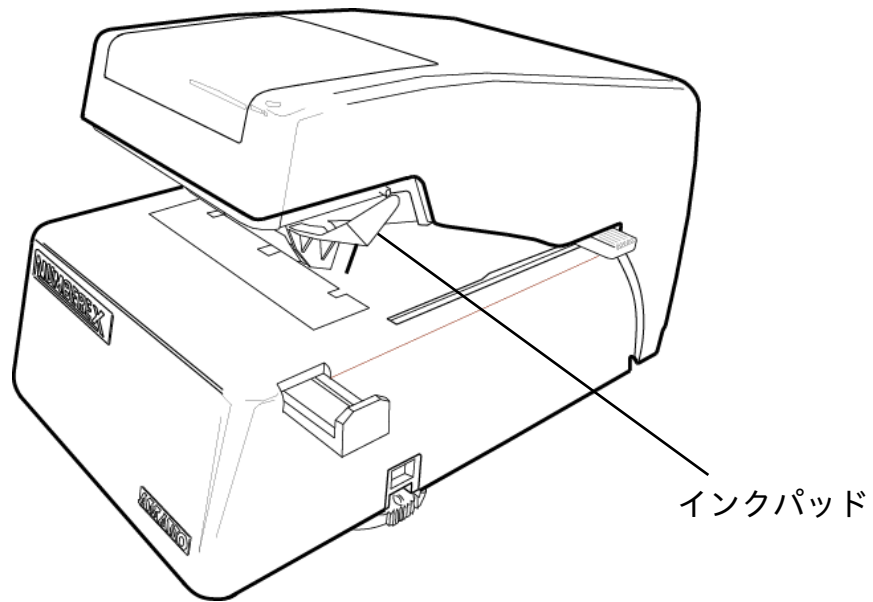
専用インク以外は、故障の原因となります。

⚠ 注意 ・ インクの補充はインクパッドを本体から外してから行ってください。

・ インクパッドを交換の際には手や服などを汚さないでください。

・ インクのつけ過ぎに注意してください。

⚠ 注意 電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。



ポイント！
新しいインクパッドを付ける時に、
スプリングバーがインクパッドを
活字部分に押付ける力が掛かるよ
うに取付ます。

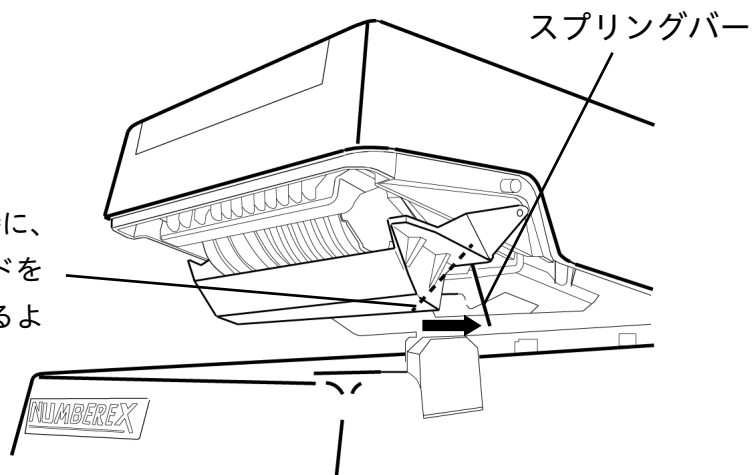


図10

9. NU-3000Bシリーズご使用の場合

⚠ 警 告



定格電圧外禁止

- ・ 本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災、感電の原因となります。



タコ足配線禁止

- ・ 電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。
火災の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



禁止

- ・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。

⚠ 注 意



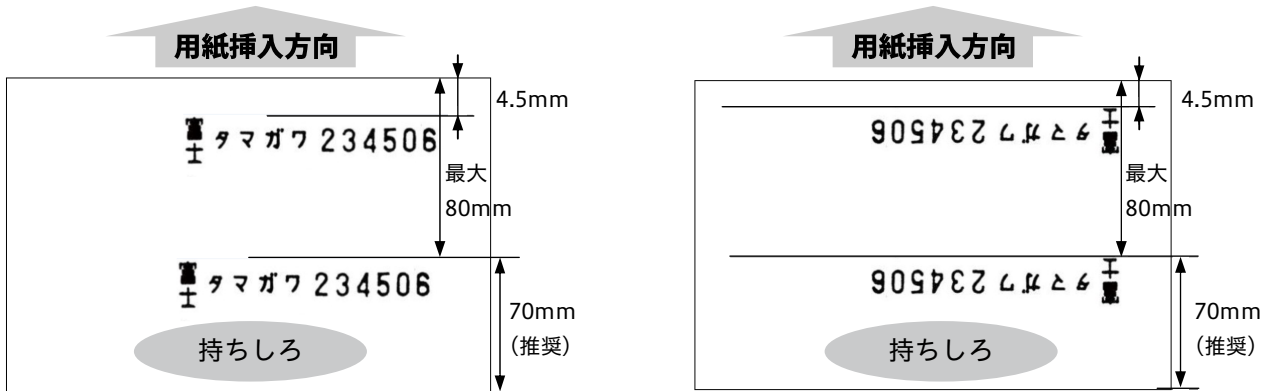
プラグを持って抜く

- ・ 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- (1) 電源プラグをコンセントに差し込み、キーを右（時計方向）に回し、パイロットランプが点灯するのを確認してください。
- (2) 奥行き（印字位置）を決める目安に、付属の“目盛りシール”をケース右側面に貼りつけてご使用になると便利です。
- (3) 印字位置（奥行き）の調整は、外部の印字位置調整つまみを前後に移動することにより、上端より 4.5mm～80mm の範囲で印字できます。（下図参照）

<モデル NU-3140B(正活字)>

<モデル NU-3340B(逆活字)>



- (4) 印字回数カウンターはリセットボタンを押すと 0 復帰します。このカウンターは印字回数用ですので、必ずしも活字のナンバーとは一致しません。リセットボタン上部に突起があり、リセット誤作動を防止します。
- (5) 押しボタンスイッチで印字する時には、印字位置調整つまみを最奥部にセットします。この場合、自動接点レバー（7 ページ図 4 参照）は OFF になります。

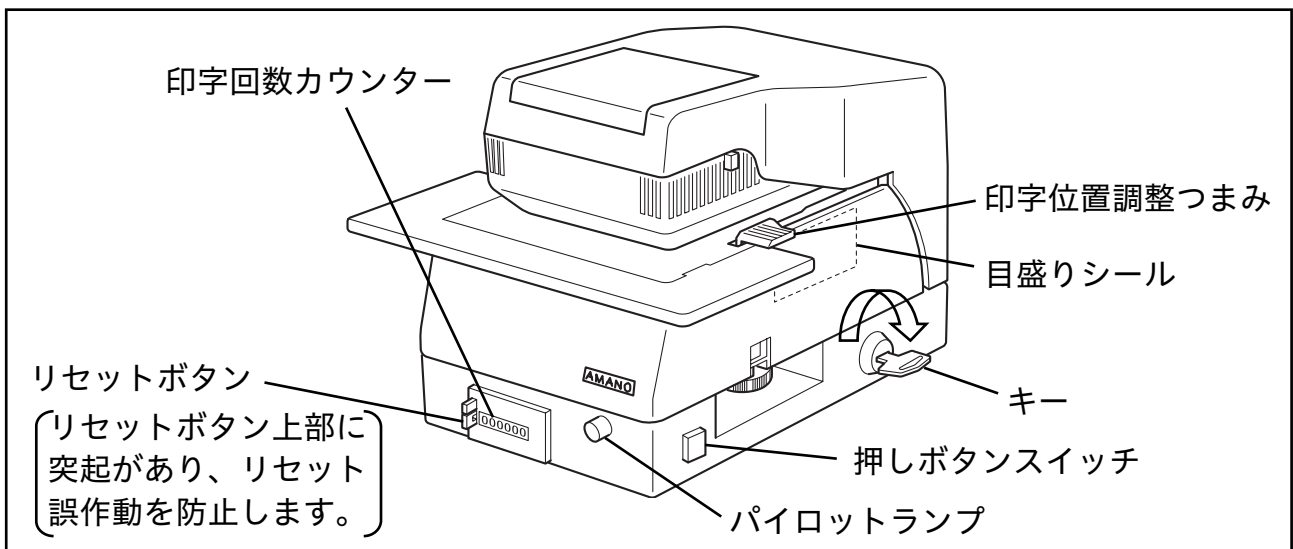
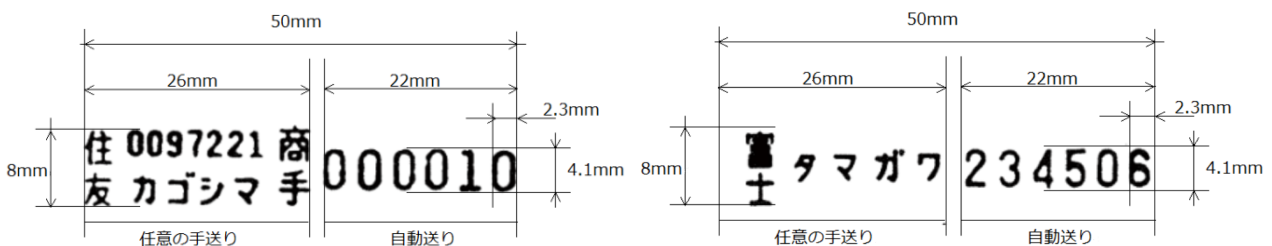


図 1 1

・ NU3000Bシリーズの活字は次のように並んでいます。



10. 仕 様

	NU-3000 シリーズ	NU-3000B シリーズ
使用電源	AC 100 V ・ 50/60 Hz	
消費電力	待機時 2W 定格 6W	待機時 2W 定格 7W
使用温度条件	- 10 °C ~ 40 °C	
使用湿度条件	10%RH~90%RH(結露なきこと)	
印 字	ローラー自動印字	
印 字 範 囲	用紙上端より 4.5 ~ 83 mm	用紙上端より 4.5 ~ 80 mm
インク供給	インクパッド方式、ワンタッチ交換	
活 字	年・月・日、記号 2 桁、 6 桁自動ナンバー (標準)	社名、支店名、種類、 6 桁自動ナンバー (標準)
外形寸法	135W×220D×145H mm	190W×230D×170H mm
質 量	3.4 kg	4.5 kg

消耗品・別売品



RT101870
黒色パッド

インクパッド対応機種
NU3000 シリーズ
NU3000B シリーズ



RT103070
赤色パッド

インクパッド対応機種
NU3000 シリーズ
NU3000B シリーズ



RT113550 黒

補充インク対応機種
NU3000 シリーズ
NU3000B シリーズ



RT113650 赤

補充インク対応機種
NU3000 シリーズ
NU3000B シリーズ

◆デザイン・仕様はお断りなく変更することがございます。